

わたしの好きな よりのい

No.139

皆さん！「紅葉」の名所といえ
ば、どんな場所を思い浮かべます
か。県内では、中津峡や長瀬が有
名ですが、町内にも名所があるの
をご存知でしょうか。今回ご紹介
するのは、中間平緑地公園の紅葉
です。

11月中旬のシーズン中は、モ
ミジなどが赤や黄色と色鮮やかに
染まり、「一見の価値あり！」で
す。また、当公園は、寄居ハイキ
ングコースの見どころの一つに設
定されていて、園内の展望デッキ

からは、町の全景をはじめ、
遠く筑波山や男体山なども
望むことができます。

深まりゆく秋、ハイキン
グがてら紅葉狩りやみかん
狩りを楽しんでみませんか。

ふるさと歩道・寄居ハイキングコース（鉢形コース）約20km

波久礼駅－(5分)－玉淀湖－(10分)－金尾山－(40分)－小林みかん山－(35分)－
風布みかん山－(60分)－釜伏峠－(5分)－釜山神社－(10分)－関所跡－(25分)－
中間平緑地公園－(70分)－諏訪神社－(5分)－鉢形城跡－(10分)－玉淀河原－(20
分)－玉淀駅



2007寄居町観光写真コンクール入賞作品

しゅうこう <秋光の中で>



わが町の 達人 こと 箏の達人 No.8



菅野充子さん（上郷南）

“おこと”といえ
ば、皆さんは
「琴」という字を思い浮かべると
思いますが、正しくは「箏」と書
きます。「琴」と「箏」では、楽
器の性質が違います。「琴」は
指や道具を使って絃を押さえな
がら演奏する楽器のことで、「箏」
は柱（じ）を使い、あらかじめ音
階を作っておいて演奏する楽器
のことです。また「箏」には現
在さまざまな種類があります。

このコーナーは、「寄居生活学の達人」として町に登録をいただいている町民講師の方々を中心
に、そのうちくや技術、体験などを町民の皆さんに紹介するコーナーです。

十三絃・十七絃・二十絃・二十五絃・
三十絃…（「絃」という字も今では
「弦」という字を使いますが、「絃」
のほうが箏らしいのであえて「絃」
を使わせていただきます）。

さて、箏というと、古い、堅苦し
い、家元制度、正座等のイメージが
あります。このため、若い人の和楽
器離れが進んでいます。これは、日
本の文化にとってとても悲しいこと
です。私は、日本の誇るべき楽器、
箏を、特別な世界ではなく、現代に
合った音楽として追求し、もっと身
近に感じてもらえるよう活動を続
けています。もちろん伝統を守って
いく必要はあります。

平成14年から中学校の授業に和
楽器が取り入れられました。私も何
校か担当させていただいていますが、

誰もが知っている歌を演奏したり、
時には箏本来の曲に挑戦してみたり
と、生徒さんたちはいきいき練習を
しています。箏に触れて音を出して
みることで、新しい音楽の世界が広
がっているようです。機会がありま
したら是非、皆さんも体験してみ
てください。私も箏だけの世界にとど
まらず、ピアノやコントラバス、フル
ート、サクソフーン、二胡などいろ
んな楽器と共演してきました。音
楽としての幅も広がり、楽しさも
倍増します。

達人ということですが、幼い頃
より箏が好きで、長年携わってきた
ことがいつの間にか…というのが
実感です。箏の優雅さ、その裏に
ある厳しさを守りつつ、もっと皆
さんに楽しんでいただけるよう努
力・精進していきたいと思いま
す。

箏は全体を「竜」にみたてて名前が付いています。

